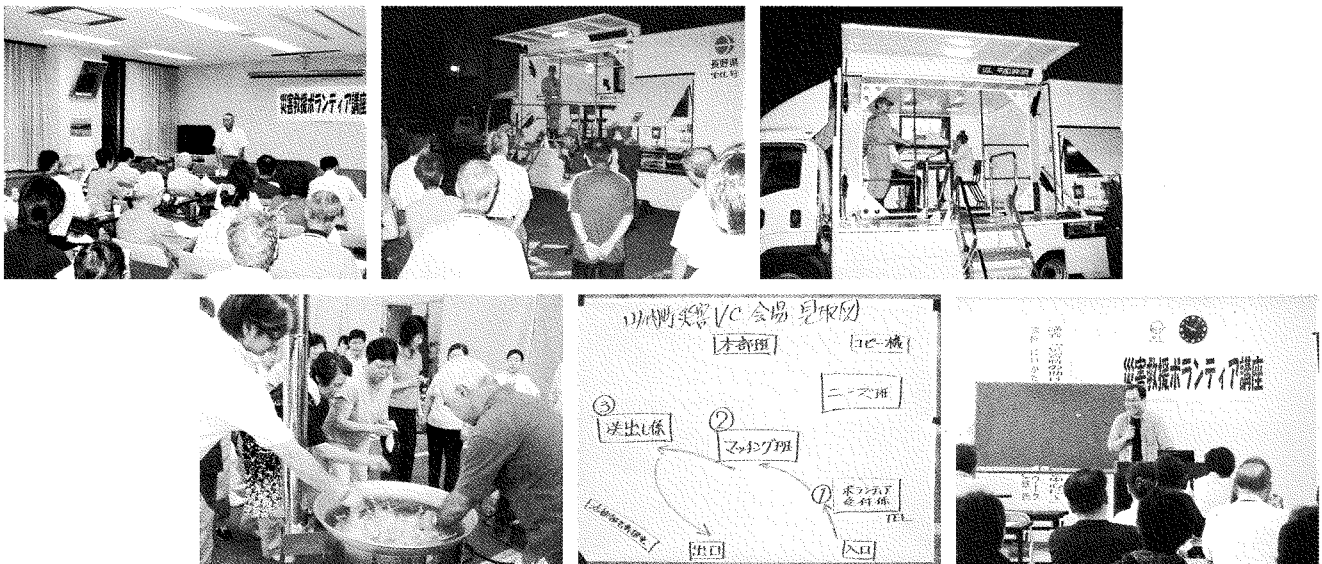


ちからこぶ

福祉通信「ちからこぶ」2010年9月号 渡辺 栄子 書

災害ボランティア講座



平成22年8月9日(月)、8月21日(土)の2回にわたり行われ、延べ66名の方に参加していただきました。

1回目は町消防署の協力で起震車による地震体験をしました。新潟中越地震・関東大震災・インドネシアスマトラ沖地震の揺れを体験していただきましたが、揺れが収まったかと思えばまた大きな揺れがあり、タンスや食器棚も倒れ、机も勝手に移動してしまうほど…。また外の電柱や外壁が倒れたり崩れたり道が地割れする様子の映像が映し出され、震災の恐ろしさを感じさせられました。

消防署の方から、①身を守ることが1番大切。火の元は第2、揺れが収まってから元栓を締める。②頭を保護する。③足にケガをしないようにするためスリッパ、靴など近くに置いておき、何か起きたときすぐに履けるように。④避難口の確保をする。地震時の避難方法など教えていただきました。

前山ノ内町消防署長の塚田さんより、「山ノ内町は志賀高原を源に発する横湯川、角間川、夜間瀬川があり、須賀川の落合地籍は地滑りや崩落地帯があり、横湯川上流には地すべり防止区域がある。また、下須賀川付近から前坂付近まで伸びる須賀川断層と前坂付近から上条和田付近まで伸びる横倉断層がある。現在のところすぐに地震活動に関係することは考えられないようだが、震度4～5程度の地震は常にあるということを心得ることが大切」と話されました。

避難路の確保、災害時の要援護者対策、自主防災組織の充実・強化(平日の昼間)、家族との連絡のとり方、非常時の持ち出し袋の準備や中身の点検、家具の固定等、災害に備えての対策など教えていただきました。

この人に注目

わたなべ えいこ
渡辺 栄子 さん

今月の表題を書いてくださったのは、渡辺栄子さんです。渡辺さんは、災害ボランティア講座に2回とも参加していただきました。

1回目の起震体験車に乗っていただいた感想は「体験車だと地震が来るってわかるからいいけど、普通に生活する中で地震が起きたら本当に怖いです。夜寝る前に災害が起きませんように…」と思いつつ寝ます。」とお話してくださいました。実際、大きな地震も体験されていて「高校3年生くらいだったか学校にいるときに地震が起きて、机の下に隠れるなんてできなくて、友達は泣き出してしまったり、叫ぶ人もいました。」と体験談も聞くことができました。

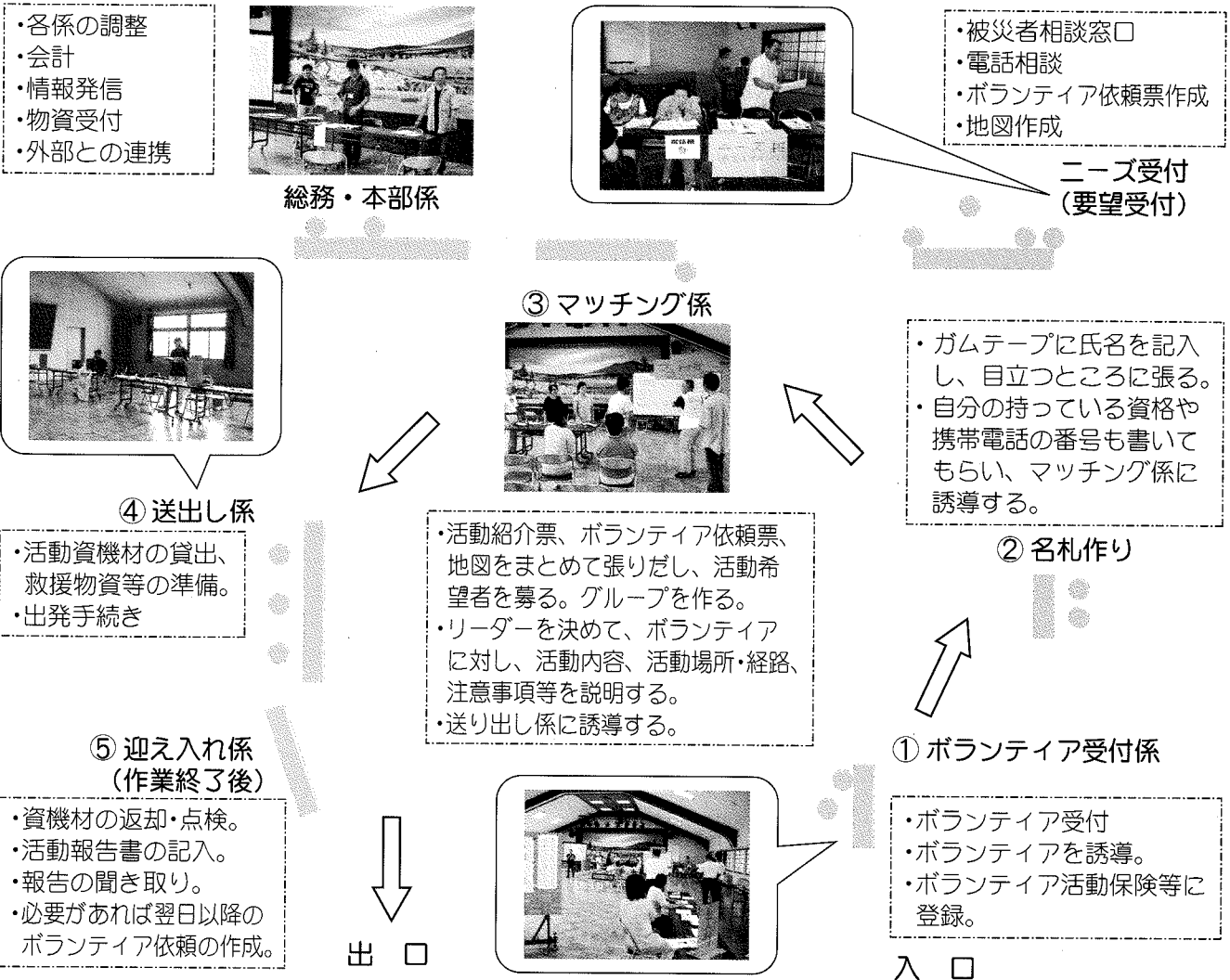
2回目のボランティアセンター立ち上げ訓練では、「実際、災害が起きてボランティアで駆けつけてくださる方って、本当にありがたいですね。本当に災害が起きたら困りますが、良い体験をさせていただきました。」と感想をいただきました。

9月1日「防災の日」ですので、年に1度は災害時に備えたり、ご家族で話し合いを持つのも良いかと思います。

*福祉通信『ちからこぶ』は、再生紙を使用しています。

災害ボランティア講座 2日目・・・

「いいがた災害ボランティアネットワーク」事務局の李 仁鉄氏を招き、県社協ほか近隣社協にご参加していただいて、実際に災害が起きた事を想定しボランティアセンター立ち上げ訓練をしました。



いつ起こるか分からない災害だからこそ、常日頃地域とのつながりを持ち、「自分の住んでいる所は大丈夫」と考えず非常持ち出し袋を用意するなど、災害に対する備えが大切だということを学びました。

News

○ 夏休み親子ボランティア体験教室 ○

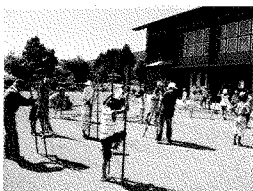
平成22年8月4日(水)どんぐりの森公園にて、夏休み親子ボランティア体験教室が行われました。町内や近隣の小学生、保護者、祖父母の方など総勢46名が集まり、竹馬作りとパンを作りました。中には沖縄からお孫さんが遊びに来ていたので一緒に連れて来られた方もいらっしゃいました。

ボランティアグループ「またたびの会」の皆さんが前もって竹馬を作りやすいように、下準備をしてくださいました。子どもたちは作り方を教えてもらいながら、部品を組み立てました。最初は竹に穴を開ける作業から始めました。初めて見るドリルに興味津々の子、「ダダダダダ・・・」という大きな音に驚く子、のこぎりで切れ目をつけるにも真剣で汗びっしょりになりながら作業しました。普段から日曜大工の大好きなお母さんはテキパキとこなし、竹馬の足置き場所づくりのため、竹を組み合わせ針金を通しました。子どもたちの力ではしっかりと巻けないので、またたびの会の男性の力でしっかりと巻いていただきました。

お昼には竹にパン生地を巻き付けて、炭火でゆっくりと焼きました。みんなで持ち寄った野菜等で、豚汁・ポテトサラダ・キュウリの塩もみ・じゃがバターなどを作り、全員で美味しくいただきました。

初めての経験だったので時間が過ぎるのも忘れ、お腹が空いたことも忘れるほど一生懸命に作りました。竹馬にすぐに乗れる子、支えてもらってから乗る子、ちょっと視界が高くなり満足した子、いろいろだったことと思います。

団塊世代の方と「もの作り」を通して仲間同士の助け合いや協力ができ、とても良い交流ができました。



地域のいきいきサロン活動紹介

○ 本郷ふれあいの日 ○

平成22年8月22日(日)に本郷ふれあい事業が行われました。

今回は婦人活動促進施設から湯田中ヘルスケアセンターへ会場を移しての開催となりました。入浴後戻ってこられた方は、満足な顔をされて「何個もお風呂があったけど、私は1つしか入らなかった。でも、背中を流し合ったりして、ゆっくり入れた。」と話され、お風呂の中でも会話が弾んだようです。



午後2時から、ココナッツガールズの皆さんによるフラダンスを楽しみました。見るだけでなく、参加者の中から指名された方が衣装を着けココナッツガールズと一緒に踊りました。踊り終わった方の感想は「良い運動になる。」と少々お疲れ気味の様子でしたが、それでも楽しまれた表情が見受けられました。

サロン内容のマンネリ化を避けようと初めての試みで、住民同士が地域を盛り上げようとする想いが伝わった日となりました。



○ 星川お元気会 ○

いきいきサロンの1つとして活動をしている星川お元気会の皆さんが福祉センターを見学されました。近くにいってもなかなか福祉センターへ入る機会がなく、参加者からは「こんなに広かっただね。」「見た事ある職員がいた。」と感心された方や、笑顔になられた方と様々な想いで見学をしている様子でした。

デイサービスの利用状況の話聞いたあと、頭や指先を使ったゲームを楽しみました。お昼をゆっくり食べ休憩も十分にとり解散になりました。

参加者からは「デイサービスも良いけど、まだ当分の間はお元気会で楽しみたい。」「お元気会だから、これからも元気でいなきゃね。」との声を聞き、サロンが定着していることを実感しました。



町内のいきいきサロン活動を紹介しています。サロン活動の様子をお寄せいただくか、ご一報いただければ取材に伺わせていただきます。ご協力をお願いいたします!!

参加者募集!

第35回 信州発ボランティア・地域活動フォーラム in SAKU

人間関係の希薄化による孤立や、新たな貧困層の拡大など地域社会を巡る課題はますます多様化しています。地域と人、そして自然とのつながりを見つめなおし、助け合い支え合いながら安心して暮らせる地域社会を実現するために、今こそ大きなエネルギーを秘めたボランティア・地域活動の力が求められています。

県内各地のさまざまな人と人が出会い、知恵を出し合い、学び合うことにより、ボランティア・地域活動の力がより大きなものになることを願って開催します。

期 日：平成22年10月30日(土)～31日(日)

会 場：【メイン会場】軽井沢大賀ホール 【情報交換・宿泊会場】軽井沢プリンスホテルウエスト

内 容：1日目>分科会、情報交換会

2日目>分科会報告、桑名正博さんと高橋明さんによるトークセッション『不良親父のボランティア(仮)』、茶話会

参加経費：参加費 1,000円(1日あたり)※全日程参加の場合は2,000円

宿泊費 13,000円(情報交換会費、朝食代込み)

情報交換会費 6,500円(宿泊せず情報交換会に参加する場合)

申込方法：平成22年10月1日(金)までに山ノ内町社協(電話：33-1105、有線：2038)にお申込みください。

問い合わせ：長野県社会福祉協議会 総務課企画部 地域福祉推進グループ

電話 026-226-1882 / FAX 026-291-5180

E-mail vcenter@nshakyo.or.jp URL http://www.nshakyo.or.jp

桑名正博さん…音楽活動に加え、ボランティア活動者としても知られています。インターネットでメンバーを募集し、車椅子バスケットチームの主宰をされており、故郷で発生した阪神淡路大震災の時には、バイクライダーを組織して現地でボランティア活動をおこないました。

高橋 明さん…社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会 大阪市障害者スポーツセンター・スポーツ振興部次長をされておられます。



～社協の予定～

9月

8	水	長野県社会福祉大会(千曲市)
9	木	・ほのほのランチ
10	金	・脳元気教室
11	土	県障がい者スポーツ大会
12	日	(松本)
13	月	・手芸教室
14	火	・結婚相談所
15	水	・お花を楽しむ会
16	木	・ほのほのランチ
17	金	・脳元気教室
18	土	介護者リフレッシュ事業(一泊) (会津若松芦ノ牧温泉と裏磐梯)
19	日	
20	月	敬老の日
21	火	・結婚相談所
22	水	
23	木	秋分の日 秋分の日のため ほのほのランチはお休みです
24	金	・脳元気教室
25	土	
26	日	・余暇活動
27	月	・本郷ふれあいの日
28	火	・結婚相談所
29	水	
30	木	・ほのほのランチ
10月	1	・脳元気教室
2	土	
3	日	
4	月	おたっしゃ会(東部地区)
5	火	・結婚相談所
6	水	北信地区自然探勝会 (戸隠)
7	木	・ほのほのランチ ・星川お元気会

>>>『おたっしゃ会』参加者募集!!<<<

(1人暮らし高齢者支援事業)

日頃の忙しい生活から解放され、山ノ内町の自然を満喫し、久しぶりに会うお友達とゆっくり過ごしませんか? 町内の1人暮らしの方を対象に「おたっしゃ会」を実施します。



開催日: <東部地区にお住まいの方> 平成22年10月6日(水)
<南西北部地区にお住まいの方> 平成22年10月13日(水)

会場: ヴィラーの瀬(志賀高原)

参加費: 1,000円

申込み: 平成22年9月16日(木)までに、お近くの民生委員へお申込みください。

その他: 当日のバス時刻等を後日ハガキでお知らせいたします。

【問合せ先】山ノ内町社会福祉協議会

電話: 33-1105 有線: 2038

☆ご寄付をいただきました☆

みなさまのご芳志に心より御礼申し上げます

山ノ内町卓球連盟様	15,000円
田中忠行様	ウォーカー1台
伊藤寛様	100,000円

お寄せいただいた寄付金は社会福祉基金に積立てし、その成果を福祉事業に役立させていただきます。なお、この他にもたくさんの方から、雑巾・おむつなどのご寄付をいただきました。お名前は略させていただきますが、お許し願います。温かいご厚志、誠にありがとうございました。

TAKEZOUの4コマ漫画

～生活に笑いをお届けします～

9月1日は防災の日です。数年、山ノ内町では大きな災害はありませんが、もしもの時に備え、日ごろから防災の心がけましょう。

① 日赤

② 非常食を 買って来たぞ もしもの時に 必要だからな

③ 色々あるぞ ようかん... かんぱんに... 飲み物に... 缶づめに... うかしもち ※水に浸しめし上かけて下さい。 まうかん かんぱん

④ おい!! 説明と同時に 食べるな!! 非常食 だぞ!! 僕のお腹が減りすぎて 非常事態!! 食べなきゃ、食べなきゃ 非常食!! うまい!!

とある家で...

編集後記

毎年、日本のどこかで自然災害が発生しています。地震・風水害... 近年私達の地域では大きな自然災害は発生していませんが、危険性はどの場所でもあると思います。被災地の方は「まさか自分の地域で災害がおこると思わなかった。ここなら大丈夫だと思っていた。」と言っています。普段から災害意識を持ち、準備していたらいかがでしょうか? (山)

社是 安全・尊厳・満足 =地域住民のみなさまと共に歩む社協=

●福祉通信ちからこぶ 平成22年9月8日発行 ●発行者 社会福祉法人山ノ内町社会福祉協議会
●〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町大字平穩3371-2(山ノ内町地域福祉センター内) TEL.0269-33-1105 FAX.0269-33-8413
●URL <http://www.honobono-shakyo.or.jp> ●E-mail info@honobono-shakyo.or.jp ●印刷 うさぎや印刷